

広報ましこ MASHIKO PUBLIC RELATIONS

2021
4
No.669



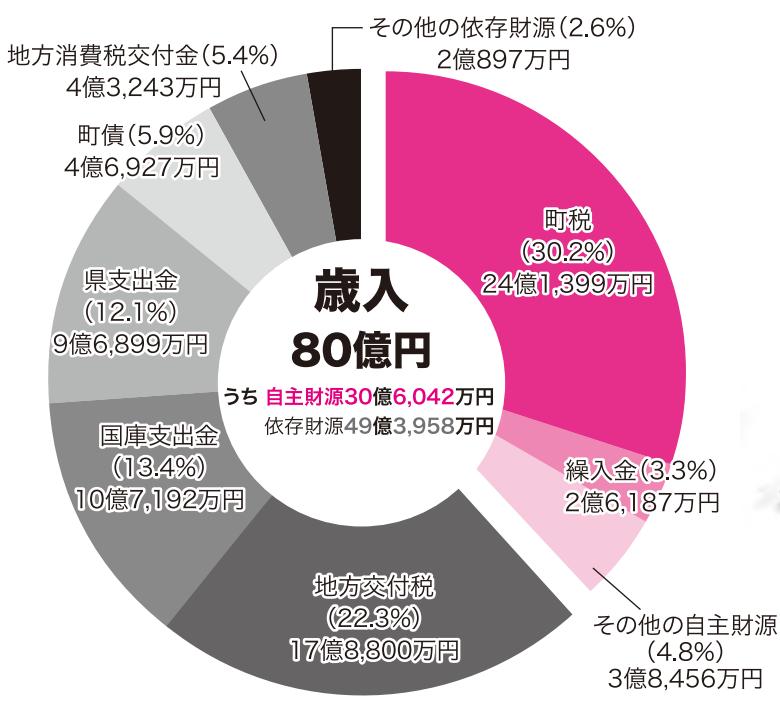
卒業式～田野中学校～

益子町の予算

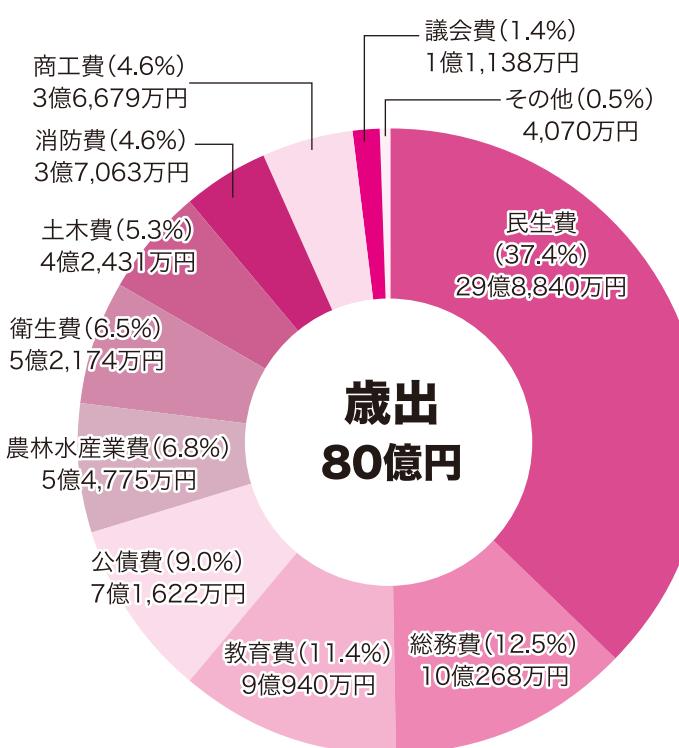
令和3年度の益子町の予算が、3月に開かれた第15回町議会定例会で審議、議決されました。本年度の一般会計予算額は、前年度対比3・5%増の80億円で、特別会計を含めた予算総額は132億2,255万円となりました。

会計名	予算額	前年度対比
一般会計	80億円	3.5%増
特別会計	国民健康保険	26億2,000万円
	後期高齢者医療	2億2,000万円
	介護保険	16億3,155万円
	公共下水道事業	6億4,500万円
	農業集落排水事業	1億600万円
総額	132億2,255万円	2.3%増

▶歳入・歳出の内訳（一般会計）

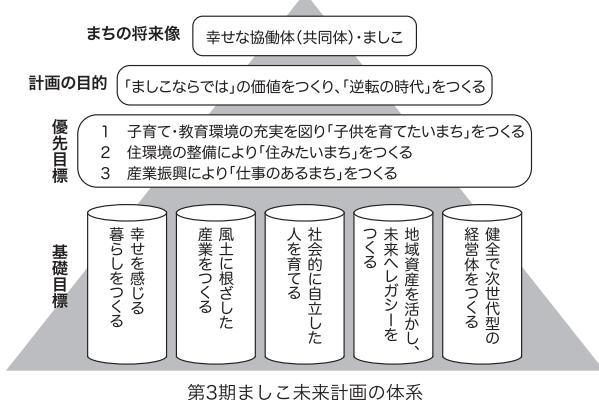


町のホームページでより詳しく予算を見ることが出来ます。ぜひご活用ください。



- 民生費**…子育て・高齢者・障がい者福祉対策や医療福祉など
- 総務費**…税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など
- 教育費**…各小中学校や公民館・運動場の運営など
- 公債費**…町債の元金・利子の返済
- 農林水産業費**…農林業振興支援や農地の基盤整備など
- 衛生費**…予防接種や各種検診、ごみ処理事業など
- 土木費**…町道の整備・補修など
- 消防費**…常備消防や消防団の経費、防災施設の整備など
- 商工費**…商工業支援や観光振興事業など
- 議会費**…議会の活動に要する経費
- その他**…労働費、災害復旧費

本年度予算の特徴



第3期ましこ未来計画では、少子化に歯止めをかけて「逆転の時代」をつくることを1番の目的とし、「子供を育てたいまち」「住みたいまち」「仕事のあるまち」をつくることを3つの優先目標として定めました。

これらの目標達成に向け、本年度予算においては、「子育て世帯を応援すること」「移住者を仲間として迎え入れ、U・I・Jターンを支援すること」をベースとした仕組みづくりに重点配分しています。

今回の予算では、令和3年1月に決定した町の最上位計画「第3期ましこ未来計画」関連事業に、10億5,677万円を配分しました。

▶令和3年度予算 主な事業



ランドスケープイメージ（百目鬼川沿い）



改修予定の起業支援施設「チャレンジショップ」

子供を育てたいまちをつくる

■保育料の無償化（3,400万円）※歳入減見込2,040万円含む

保育園・幼稚園・認定こども園すべての園児の保育料を無償化します（保育園は保育料の歳入を皆減、こども園は保育料分を補助）。第1子、0歳児を含むすべての園児が対象です。

■子育て世帯家賃補助（360万円）

町内の貸家住宅に新たに住所を設定した40歳未満の子育て世帯の家賃の2分の1を補助します。益子町への定住が条件です。

住みたいまちをつくる

■役場周辺土地区画整理関連事業（1,727万円）※総額見込1,247万円含む

役場周辺地区を新たな居住拠点として整備する事業で、令和2年度から8年度にかけての施行を予定しています。

■ランドスケープワークショップ事業（813万円）

令和元年度に策定した益子町の風景・景観を未来につなげる「ランドスケープ計画」を進めるため、組織づくりや各地区および各団体とのワークショップを行います。

仕事のあるまちをつくる

■DMO「ましこラボ」交付金（2,630万円）

観光の基幹産業化を図るため、観光地域マーケティングや町内循環型経済の構築を行う組織として今年3月に創立したDMO法人「ましこラボ」に関する事業です。

具体的には、WEB陶器市の運営やふるさと納税のウェブサイト構築などを行う予定です。

■起業支援施設「チャレンジショップ」整備（1,910万円）

町所有の店舗を改修し、起業を検討されている方向けの貸店舗「チャレンジショップ」として整備します。低額で最長2年間貸し出しすることにより、起業・経営ノウハウを習得する機会を創出します。

問 企画課財政係 ☎72-8830 予算詳細やその他事業については町ホームページ（町政>財政>益子町予算説明書）をご覧ください

義務教育9力年 皆勤生徒紹介

(順不同・敬称略)

田野中学校

中川 親祐



福田 真佑



上野 智也



益子中学校

菅野 じゅりあ



小堀 偉史



谷田部 琉奈



磯 杏凜



大根田 涼雅



石川 りみ



七井中学校

小林 愛奈



小高 彩音



横山 蓮愛



相田 七海



引田 瑞輝



清水 新太



小杉 拓



小学校6力年 皆勤児童紹介 (順不同・敬称略)

- ▶ 田野小学校 上野 瑠那 菊井 健吾 関根 詩太
- ▶ 益子小学校 池田 詩音 薄根 況 大塚 かなみ 大塚 喜永 西谷 姫彩 長谷川 夏桜
細谷 佐和子
- ▶ 益子西小学校 荒井 粋 小野 琢磨 河原 りこ 児玉 結子 森脇 愛央
- ▶ 七井小学校 押久保 真唯 小口 楓恋 小菅 萌栞 斎藤 悠真 細谷 優葵 本間 光騎
茂垣 元心 米山 心優

観光地域づくり法人

ましこラボ

創立総会が行われました

3月1日(月)町民会館ホールにおいて、「一般社団法人人ましこラボ」創立総会が行われました。ましこラボは、観光庁の登録認定を目指す「地域DMO」として、益子の地域資源を活かしたコト消費(体験やサービスを提供する)ツアーや造成し、来訪者が長い時間滞在したいと感じてもらえる滞在型の観光地域をつくるつてまいります。

「ましこラボ」の基礎的な役割のひとつとして、観光地域マーケティング・マネジメント機能があり、継続的にデータなどの収集・分析を行い、データに基づいた観光戦略の実践をしてまいります。



経営責任者の塚本裕昭代表理事(左)と
事業責任者の橋本章専務理事(右)

具体的な事業として、WEB陶器市の運営。
ふるさと納税自主サイトの立上げ・地域共通ポイントカードmashibioシステムの運用などを行い、観光地域マーケティングと町内循環型経済の構築事業を推進してまいります。

「ましこラボ」の役員構成は、益子町商工会・益子町観光協会・益子焼協同組合・益子焼販売店組合・はが野農業協同組合・益子町の6団体からの代表と、現場で采配を振る事業責任者として着任した益子町出身の橋本章専務理事の7名で構成し、観光地域づくり実現のための官民混合の組織として始動してまいります。



創立総会の様子

■お問い合わせ
観光商工課 □72-8846

令和2年度特別栄誉賞および教育功労者表彰

3月23日(火)、町民会館において、「令和2年度特別栄誉賞および教育功労者表彰式典」が行われました。受賞者は次の方々です。(敬称略)

特別栄誉賞表彰

▶ピアノ
東野 心美 (七井中2年)

教育功労者表彰

教職員として15年以上勤続

梁木 雄二 (田野小教諭)
河原 晴美 (田野小教諭)
小林 和枝 (益子小教諭)
大根田 淳子 (益子小教諭)
小玉 葉子 (田野中養護教諭)

本町の学校医として15年以上従事

松谷 肇

本町の教育委員として長年にわたり就任し教育の充実・発展に貢献

安藤 由美子

田野中学校体育振興会長、後援会副会長として長年にわたり就任し教育の発展に貢献

渡邊 重雄

益子中学校後援会の正副会長として長年にわたり就任し教育の発展に貢献

和久 成治

本町の弓道の振興・発展のために長年にわたり貢献

山川 信栄
▶本町の交通指導員として3年以上従事
大塚 雅淑 三田 拓史

芸術文化部門において県・全国大会等で優秀な成績をおさめた者

▶俳句・川柳
上村 奈々 (七井小5年)
▶作文
渡辺 凜 (七井小5年)
樋下田 柚茉 (七井小4年)
高島 文香 (益子中3年)
▶絵画
増山 心雪 (七井小3年)
石川 菜ノ花 (七井小1年)
和田 來奈 (田野小1年)
長谷川 陽梨 (七井小1年)

▶スローガン

保園 千晶
▶ポスター
小泉 うた (益子中1年)

スポーツ部門において県・全国大会等で優秀な成績をおさめた者

▶野球
高橋 祐士郎 (益子中2年)
手塚 大裕 (七井中2年)
▶卓球
龜田 ひより (益子中2年)
▶自転車競技
人見 星衣來 (七井小6年)
▶バレーボール
[七井スポーツ少年団バレーボール部]
桐ヶ谷 侑里 高久 陽向
吉澤 咲来 布瀬 愛佳
今井 紗姫 豊田 葵
神田 咲希 吉澤 結彩
北原 沙紀

ヒ
ジ

土祭 2021

【会期】

2021年5月22日—10月24日

【メイン期間】

9月17日—10月24日 *金・土・日・祝日のみ開催

*準備や作品づくりのワークショップや
日常の活動にもフォーカスし、3密回避のため、
メイン期間を設けながらの分散開催とします。

【会場】町内各所

主催 | 土祭実行委員会 実行委員長 | 大塚朋之
お問い合わせ | 観光商工課土祭事務局 Tel.0285-72-8873

<http://hijisai.jp>

土祭2021 10の部門での プログラム



これからの主な予定

4月中旬	●土祭ウェブサイトで内容などの情報更新開始
5月1日	●町内4箇所で、ウインドウアートがはじまります。 ●広報回覧で「住民プロジェクト」公募などの案内
5月23日	●縄文太鼓づくりワークショップ
6月1日	●広報回覧で「陶芸・工芸などのオープンアトリエ」 公募などの案内
7月1日	●広報回覧で各種ワークショップなどの案内
7月31日	●のぼり旗「土祭」毛筆制作のワークショップ
8月1日	●のぼり旗、竹竿作りワークショップ
9月17日	●メイン期間～10月24日まで



過去に開催された
縄文太鼓
ワークショップの様子

小宅古墳群を中心に七井地区の再発見と地
区の自然、農業、土、窯業をもう一度見直す機

何よりも住民の私たちが、大人も子どもも
一緒にになって楽しめることが大切だと考えてい
ます。企画を絞るのが大変なくらい、個性豊か
な地区メンバー、楽しいアイデアがたくさん出
てきます。

益子地区(木村光臣さん)

益子地区の自然、農業、土、窯業をもう一度見直す機

元の当たり前だった日常生活を、発信できる事を大
切に企画準備しております。コロナのレベルに合
わせた演奏会、ボタリングのコース提案、展示会
等の企画を検討・調整中です。また、演奏会の出
演者、ボランティア参加者も募集しております。
ご理解、ご協力の程を宜しくお願ひ致します。

■ 田舎地区(高野康弘さん)
コロナ禍での土祭の在り方を見つめ直し、地
元の当たり前だった日常生活を、発信できる事を大
切に企画準備しております。コロナのレベルに合
わせた演奏会、ボタリングのコース提案、展示会
等の企画を検討・調整中です。また、演奏会の出
演者、ボランティア参加者も募集しております。
ご理解、ご協力の程を宜しくお願ひ致します。

■ 住民参加の広報プロジェクト
公募によるレポーター活動。

住民参加の広報プロジェクト

養成講座を受講した上で土祭のウェブサイト
に記事を書いていただく方を1月の回覧で募
集し7名の応募がありました。活動の様子など
は、ウェブサイトやSNSで紹介していきます。

■ ウィンドウアートプロジェクト

城内坂の数軒の窓に絵画が描かれているのを
ご覧になられた方も多いと思います。5月から10

月まで、町内の数カ所を会場に、町内在住の6
名のアーティストが絵を描き、子どもも大人も
一緒に色を染め仕上げていくプロジェクトを開
催します。参加募集のお知らせなどは、次号にて。

アートのプログラム

アートのプログラム

それぞれの地区の旧小学校エリアにある、7
つの神社に作品展示を行う企画など、町内各
地の屋外の会場を使い、4つのプロジェクトを進
めていきます。今号では、その1つ、北海道から茂
呂剛伸さんを招いてワークショップと演奏会を行
う「丘で踊る—縄文太鼓の鼓動」の参加者を募
集します。北海道在住の茂呂さんは、自ら制作
した土器の太鼓「縄文太鼓」を、独自のスタイル
で演奏し、国内外で北海道の縄文芸術や文化
の素晴らしさを伝える活動を行っています。今
号の回覧に、5月23日に行う太鼓づくりのワー
クショップの案内チラシがありますので、ぜひご
覧ください。

※七井地区が企画中でしたプレ企画は新型コロナウイルス感染の状況を鑑み中止をすることといたしました。

会にしたいですね。小宅古墳群の菜の花の実を
収穫して食用油をつくるなど子どもも参加で
できる企画を検討中です。七井地区以外からも
ボランティア参加者、大歓迎です！

ましこ世間遺産5件を認定

令和2年度下期分ましこ世間遺産の認定式が2月27日（土）に行われ、認定証が代表者に交付されました。この機会に、ぜひ新しい「ましこ世間遺産」を訪ねてみてください。



※ましこ世間遺産の認定は今回で最後となり、合計で57件になりました。
今までに認定となつた世間遺産は、益子町公式ホームページやYouTubeでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

動画公開中



No.36は高麗神社と八坂神社(下大羽)に変更となりました

令和2年度
下期分

まなびの広場

「ましこ町民大学卒業生が高校生にアドバイス」

昨年度の第8期ましこ町民大学は、益子芳星高校生を対象として実施され、44名が町民学士として認定されました。その学習プログラムの中では、高校生の自由な発想に基づくアクションプランづくりが行われ、「益子のカフェ」や「道の駅ましこ」のPR、「陶器市でのコスプレごみ拾い」「益子シャトルバス計画」など高校生目線でユニークなアイデアが発表されました。このアクションプランづくりに際しては、町民大学の卒業生がアドバイザーとして高校生に直接、助言をしました。その中では、アドバイザーとイベントを視察したり、お店にでかけたりと、大人と高校生が共に活動することもありました。

助言にあたった町民大学卒業生も高校生と地域づくりについて話し合うことができ、とても有意義な時間だったと話していました。また、高校生の発想の豊かさやパソコンやスマホの操作、SNSを駆使したPR方法など、とても参考になつたようでした。

ましこ町民大学は、昨年度の8期で終了しますが、高校生を含めた卒業生の益々の活躍が期待されます。なお、益子芳星高校では、今後も高校生が地域づくりを考える活動として同様の学びを継続していく予定です。



このページは、生涯学習支援ボランティア
まなぼうかい
「学望会」
の編集協力により作成しています。



教育長に三田進氏を任命 岡良一郎教育長が退任



三田 進 氏



岡 良一郎 氏

たまない通信

町長は、町議会3月定例会で議会の同意を得て、教育長として三田進氏を任命しました。

三田氏は昭和56年に教員に採用され、県教育委員会事務局芳賀教育事務所所長補佐、市貝中・益子中学校長などを歴任されました。

岡良一郎教育長は3月31日付けで退任しました。岡氏は昭和54年に教員に採用され、七井小・益子中学校長などを歴任し、平成26年4月の教育長就任以来、7年間にわたり益子町の教育行政の充実・発展に熱意を持って尽力されました。



大塚町長(左)と鈴木きみいさん(右)

栃木県名誉農業士に鈴木きみいさん

3月4日(木)、芳賀農業振興事務所にて栃木県名誉農業士・農業士・女性農業士認定式が行われ、益子町からは名誉農業士に鈴木きみいさんが認定を受けました。

鈴木さんは平成12年に女性農業士に認定され、主体的に農業に参画し、経営方針や内容等を決め実行するとともに「とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」の推進や農村女性組織等の育成指導を行うなど、地域のリーダーとして活躍されてきました。

また、各団体の会長・理事および委員を務めるなど、女性の地位向上や社会参画活動に貢献し、農業委員や理事等政策決定の場への女性の登用について尽力されました。



はが野農業協同組合代表 国府田厚志さん(左)と岡教育長(右)

ランチョンマット贈呈

3月12日(金)町役場において、はが野農業協同組合代表理事組合長国府田厚志さんより、令和3年度栃木県内小学校新入学児童全員に、学校給食時に使用するランチョンマットの贈呈がありました。

これからの未来を担う子どもたちに、栃木県産の農畜産物をたくさん食べてもらい、健やかに成長して欲しいという願いが込められています。

また、県内小学校の3年生全員に社会科学習資料「とちぎの農業」、5年生全員に補助教材「農業とわたしたちのくらし」も寄贈していただきました。

今後の社会科や総合的な学習の時間の授業で、農業に対する理解を深めるために活用させていただきます。

ありがとうございました。

全国大会出場！益子中学校 卓球部（男子団体・女子団体）

令和2年12月に「令和2年度栃木県中学校卓球強化研修会」が行われ、全国大会代表決定トーナメントにおいて、男女共に団体戦で1位となり、全国大会出場を決めました。そして令和3年3月27日～28日、島根県立浜山体育館にて開催された「第22回全国中学選抜卓球大会」に出場しました。



全国大会出場を決めた男子団体（左）と女子団体（右）チームの皆さん



上野 康雄さん（左）と悦子さん（右）

交通栄誉章緑十字銀章 受章

上野康雄さんが「交通栄誉章緑十字銀章」を受章しました。「交通栄誉章緑十字銀章」は、交通安全のために献身的に尽力した功労者に贈られ、警察庁長官と全日本交通安全協会会长の連名によって表彰されます。上野さんは、現在、交通安全協会益子町支部長と栃木県交通指導員連絡協議会副会長を務めています。昭和49年春から児童の登校の見守り活動など、交通安全指導を47年余りの長きに渡り続けてきた功績が認められ、今回の受章となりました。また、上野さんの妻・悦子さんには同会長名の感謝状が伝達されました。

栃木県環境森林部長から感謝状

2月5日(金)、獵友会会員の久野清さんに野生鳥獣による被害防止功労者として栃木県環境森林部長から感謝状が授与されました。この感謝状はイノシシおよびニホンジカの年間捕獲頭数で顕著な功績を収めた方に与えられるもので、久野さんは昨年に引き続き2回目の受賞です。

～受賞者のコメント～

長年イノシシを狩ってきたが、このような賞をいただくのは大変光栄であり、とても嬉しく思う。

このような感謝状をいただけたのは今までやってきたことの積み重ねもあるが、それ以上に周りの人の支えが大きい。この受賞を励みにこれからも町内の有害鳥獣駆除に貢献していきたい。



久野 清さん

長年の交通指導に表彰

令和2年度栃木県交通指導員連合会表彰において、大塚隆さんに栃木県特別功労賞、大塚雅淑さんに功労賞が贈されました。

これは、長年交通指導員として活躍されたことに対しての表彰で、大塚隆さんは満40年間、大塚雅淑さんは満5年間交通指導員を務めています。



大塚 隆さん



大塚 雅淑さん

「かさましこごはん」給食 日本遺産の理解深める

茨城県笠間市と共同で申請した「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」が日本遺産に認定されたことを受け、笠間市とコラボしありの県の特産物などを取り入れた学校給食「かさましこごはん」を3月1日（月）に実施しました。

両市町の小中学校24校、約7,000人の児童生徒が給食を通して、お互いの地域の食文化について理解を深めました。

給食の献立

○ごはん ○牛乳

○モロフライ（サメのフライ。栃木県では海がないこともあり、昔から学校給食で食べられていました）

○れんこんとかんぴょうのサラダ（両県の特産物を使用したサラダ）

○きのこんこん汁（笠間稻荷神社のお稻荷さんの使者であるきつねの好物油揚げと、笠間市で栽培が盛んなきのこを使用したお汁）

○とちおとめ苺のゼリー（両市町で栽培が盛んないちごを使用したデザート）



給食の感想 深谷怜寿さん（田野小5年）

きのこんこん汁を初めて食べました。きのこや油あげなど具沢山でおいしかったです。

卒業生に道の駅ましこから とろたまぶりんのプレゼント

道の駅ましこから、町内の小中学校へ卒業のお祝いとしてとろたまぶりんがプレゼントされました。

中学3年生には3月5日(金)に、小学6年生には3月16日(火)に、それぞれ学校給食で提供されました。

とろたまぶりんは、益子町塙の薄羽養鶏場さんの新鮮なたまごを使った道の駅の人気商品です。



プレゼントされたとろたまぶりんを食べる
益子中の生徒たち

交通情報

交通事故発生状況

(2月28日現在)

区分\年別	令和3年		令和2年		増減	
	2月	累計	2月	累計	2月	累計
件数	1	3	2	3	-1	0
死者	0	0	0	0	0	0
傷者	2	4	2	3	0	1

◆交通事故巡回相談

巡回相談は予約制で、那須県民相談室と足利、佐野、小山市での実施となります。受付は相談日の3日前（土日祝日等を除く）までとなります。

※予約がなかった場合、巡回相談は実施いたしません。なお、県民プラザ室では、土日祝日等を除き、毎日相談に応じています（予約不要）。

県民プラザ室交通事故相談所
(県庁内) 028-623-2188

春の交通安全県民総ぐるみ運動

4/6(火) → 4/15(木)

運動の重点

全国重点

- 1 子供と高齢者を中心とする歩行者の安全の確保
- 2 自転車の安全利用の推進
- 3 歩行者などの保護を中心とする安全運転意識の向上

栃木県重点

- 1 「子供や高齢者に優しい3S運動」の推進
 - 2 「夜間走行中の原則ハイビーム」の徹底
- ▶3S運動
- S EE (発見する) 子どもや高齢者をいち早く発見する
S LOW (減速する) 子どもや高齢者を見たら減速する
S TOP (停止する) 危険を感じたらすぐに停車する

歩行者の安全確保に努めましょう

- ▶思いやり運転で、新入学児童や高齢者などを交通事故から守りましょう
- ▶早めのライト点灯と夜間走行中は、原則ハイビームを徹底しましょう

交番だより



保健センターからのお知らせ

保健センターでは、出産や育児・健康に関するサポートのために、さまざまな事業を行っています。会場はすべて保健センターですので、ぜひお気軽にお越しください。

乳幼児健診・育児教室などについて

会場：保健センター

新型コロナウイルスの対策をしながら、開催しております。その他の日程や詳細は町ホームページに掲載しております。乳幼児健診の対象者にはハガキなどでお知らせいたします。

4月		
実施日	事業	対象者
4月5日(月)	あかちゃん広場	生後1カ月～
4月9日(金)	もぐもぐ教室(離乳食教室)※	令和2年9・10・11月生
4月14日(水)	1歳6カ月児健診	令和元年8・9月生
4月19日(月)	あかちゃんマッサージ ※	生後2カ月～6カ月
4月21日(水)	12カ月児健康相談	令和2年 4月生
4月22日(木)	9カ月児健診	令和2年 7月生
4月23日(金)	4カ月児健診	令和2年12月・令和3年1月生

5月		
実施日	事業	対象者
5月10日(月)	あかちゃん体操	※ 生後6～12カ月
5月14日(金)	3歳児健診	平成30年3・4月生
5月20日(木)	9カ月児健診	令和2年 8月生
5月24日(月)	あかちゃんマッサージ ※	生後2カ月～6カ月

※育児教室は予約制です。参加を希望される方は、保健センターまでご連絡ください。



集団健康診査について

5月から集団健康診査を実施いたします。昨年度、受診された方は自動予約となります。4月以降、順次個別にお知らせいたします。5月の日程は次のとおりです（年間予定や、詳細はホームページなどでお知らせします）。

日 程	5月11日(火)、19日(水)、23日(日)、29日(土)	場 所	保健センター

新型コロナウイルスの影響で、昨年受診を控えた方は、ぜひこの機会に受診をご検討ください。

■お問い合わせ・お申し込み 保健センター TEL 70-1121

益子陶芸美術館／陶芸メッセ・益子
間 一
は、一方、研鑽期を過ごした益子での作陶が少くなり、わずかながら益子に開催されてきました。しかししながら、現に近づくにつれ、当時のことを知る人が少なくなり、わざわざながら益子に開催されたり、エピソードに触れられなくなってきたことに気づきます。

一方、研鑽期を過ごした益子での作陶は、加守田章一作品を語る上で、欠かせないものです。そこで本展では、益子時

加守田章一（一九三三～一九八三）は、近現代日本陶芸史に大きな足跡を残した陶芸家の一人です。大阪府岸和田市に生まれ、京都市立美術大学で富本憲吉らに陶芸を学んだ後、茨城県日立市の大窯陶苑に就職、その後栃木県益子町の塙本製陶所の研究生となり、一九五九年に益子で独立します。さらに一九六九年には岩手県遠野市に移り、代表作となる「曲線彫文」シリーズを発表しました。



《銀陶角鉢》 1968年 益子陶芸美術館

■休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
※新型コロナウイルス感染症の状況により、会期の変更または臨時休館となる場合がございます。お越しの前に、HPかお電話にて開館状況をご確認ください。

益子陶芸美術館／陶芸メッセ・益子から

アートに親しむ

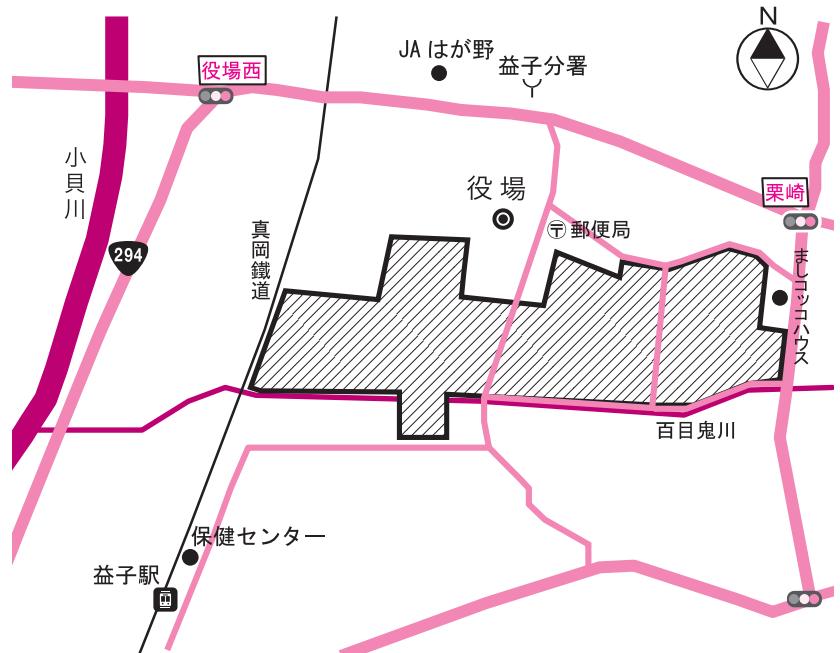
第50回

益子町図書館建設候補地について

町では図書館建設に向け、益子町図書館基本計画策定委員会を組織し基本計画を策定しております。2月12日に行った第2回策定委員会では、基本構想で候補地となった4箇所をさまざまな観点から議論し、賑わい創出や防災の観点を重要視する意見が多数ありました。町は、委員会で意見を参考に、町の総合計画との整合性、各種事業との相乗効果、財政的負担、安全性の観点から「益子町役場周辺土地区画整理地内」を建設予定地として進めてまいります。

今後は、図書館を人々の集まる憩いの場“サードプレイス”（自宅や職場（学校）ともう一つの自分の居場所）と位置づけ、これを拠点とし、人々の交流の創出や子どもから大人までが楽しめる新たな交流の拠点として整備してまいります。

問 生涯学習課 ☎ 72-3101



まじこ

文
芸

短
歌

(栗崎) 日渡 君枝
日光の連山雪に光りて今日告ぐるべき
言葉定まる

(新町) 小森 ミツ

ピカピカの服と自転車入学子
(栗崎) 日渡 守

蕗味噌の香るおにぎり昼餉どき
(上大羽) 福島 文代

フワトロのオムレツに添ゆ菜花かな
(栗生) 若林 郁代

春シヨール手のチケットは吉右衛門
(田町) 飯塚えり子

沈丁花なほ作陶の米寿なり
(新町) 植田 ヨネ

嫗てふ私はわたし春シヨール
(芦沼) 川辺 幸代

川面風柳芽吹くや歳の街
(北益子) 久野三千代

朝刊の一面かざる福寿草
(栗崎) 鈴木 英子

春時雨鐘の音ひびく陶の里
(上大羽) 関澤満喜枝

返るスコアボードの余白かな
(上大羽) 関澤満喜枝

川
柳

困難を越えて絆を太くする
(山王前) 佐藤 恵子

満面の笑みは一人じゃ出来ぬもの
(台町) 田野 信次

身仕度はしつかり今日も前を向く
(塙) 大閑 栄泉

来客の予感的中いい日和
(台町) 桜井 トク

古里の匂いへ溶けてゆく心
(大沢) 鈴木美代子

猫柳ねこの額の庭に咲く
(塙) 宮本 恵美

寄つて来るコロナで逃げる仕事先
(台町) 野崎 信子

里帰り駅にはいつも母がまつ
(生田目) 佐藤 峰子

人使う自から動くことと知る
(台町) 石川ぶん子

道の駅みんなラベルの良い笑顔
(生田目) 佐藤 峰子

思い雀らを追う

自衛隊機過ぐ

(芦沼) 伊崎 アサ

紺青の二月の空をゆっくりと低空飛行の
自衛隊機過ぐ

梅の古木に今年の花の少なきをさびしく

すか春の香のする

(塙) 高島 孝子

老木の高さに咲きし梅の花見上げればか

(塙) 高島 孝子

前庭の紅白梅に雀らはコロナ知らずと枝

(田町) 豊田 君恵

うつりとぶ

(田町) 豊田 君恵

紺青の二月の空をゆっくりと低空飛行の
自衛隊機過ぐ

(芦沼) 伊崎 アサ

五位鶯の戯れるごとトラクターの動きに
(道祖土) 山口 秀雄

如月の凍える煙に春を見る朝露光る麦の
みどりよ

(塙) 矢澤 章人

山門にしだれる桜あやなしていく世変ら
(塙) 宮本 恵美

世の中の喧騒よそにうらうらとれんげた
んぽぽ菜の花は咲く

(塙) 宮本 恵美

利休梅雪わづかに動きそむ亡友の庭にも
咲けよと祈る

(生田目) 小宅 光子

前庭の紅白梅に雀らはコロナ知らずと枝

(田町) 豊田 君恵

うつりとぶ

(田町) 豊田 君恵

前庭の紅白梅に雀らはコロナ知らずと枝

(田町) 豊田 君恵

うつりとぶ

(田町) 豊田 君恵

前庭の紅白梅に雀らはコロナ知らずと枝

(田町) 豊田 君恵

うつりとぶ

(田町) 豊田 君恵

前庭の紅白梅に雀らはコロナ知らずと枝

計報

駅	塙	星ノ	富士	上山	新町	小宅	星ノ	小宅	内	小宅	西	自治会名
前	2	宮上	1	山	山	下西	宮上	2	西	西	町	
太	小	三	青	芦	大	佐	中	中	樋	中	下	じぐなられた方
田	林	村	木	野	塙	藤	村	山	田	山	田	2月届出分(敬称略)
佐	元	ハナ	一	サ	共	フ	マ	はつ	眞理	仲	年齢	
平	子	平	子	男	ク	子	イ	ゑ	子	男	世帯主	
79	97	100	97	100	72	94	79	94	81	83	63	90
泰	本	昭	年	勝	英	敬	本	正	修	キ	ク	工
徳	人	人	夫	江	巳	郎	司	人	行	一		

第2期益子町子どもの読書活動推進計画

報告会・講演会を開催します



日 時：4月17日(土) 13:30～15:30

場 所：益子町民会館ホール

定 員：100名（事前申し込み不要） 入場無料

内 容

○報告会：「第2期益子町子どもの読書活動推進計画」について

○講演会：「子どもの心をたがやすということ

暮らしの中の文化・芸術と価値の多様性」

講 師：渡辺 梓 氏

NHK連続ドラマ小説「和つこの金メダル」で主役を務めるなど、女優として活躍されるとともに、2児の母としての子育て経験から、子どもが文化や芸術に触れ、感性を磨くことの意味について、ご自身の豊富な経験をもとに講演していただきます。

問 生涯学習課 ☎ 72-3101



ごみの野焼きはやめましょう！

ごみは、町のルールに従って適正に処理してください

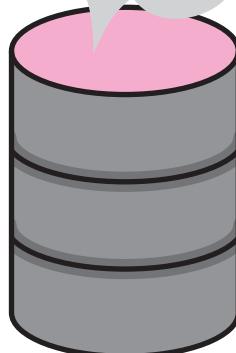
近年、野焼きの問合せが増加しておりますので、今一度制度のご確認をお願いします

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「法律」）により、

次の場合を除いて、**廃棄物の焼却は禁止**されています。



- ▶ 法律の処理基準に従って、法律の規定に適合した焼却炉で廃棄物を焼却する場合
- ▶ どんど焼きなど、風俗慣習上の行事を行うために必要な場合
- ▶ たき火など日常生活を営むうえで通常行われる草木などの焼却でごく少量の場合
- ▶ 農業・林業または漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却で周辺の生活環境に与える影響が軽微である場合（ビニール類の焼却は認められません）



これに違反すると

5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金（またはこの併科）の対象となります。また、山などに飛び火すると大規模火災につながる場合もあります。実施の際は風向きなどに十分お気を付けください。

■お問い合わせ 平日(8:30～17:15) 益子町環境課 生活環境係TEL72-8101
休日・早朝・夜間 芳賀地区消防本部 益子分署TEL72-3651

資源ごみ・もえないごみ 収集日程		*田野地区全域	*益子地区	*益子地区
		*益子地区	一ノ沢・城内・新町 田町・塙・星ノ宮	栗崎・道祖土・北郷谷・北益子 栗生・上大羽・下大羽
紙 類 、 缶 類 ペ ッ ト ボ ト ル	4月	2・15	5・16	7・19
	5月	6・17	10・21	11・24
も ん な い ご め び ん 、 衣 類	4月	1	6	8
	5月	7	11	13

■休日受付(家庭ごみの日) 日時:4月18日(日) 9:00～12:00 場所:芳賀地区エコステーション



令和4年(2022年)栃木県で国体が開催されます！

「いちご一會とちぎ国体」は、令和4年に栃木県で開催される第77回国民体育大会です。1980年の第35回「栃の葉国体」以来、42年ぶりの開催となり、栃木県内でさまざまな競技が行われます。

○大会日程 令和4年10月1日(土)～11日(火) 11日間

○実施競技 正式競技(37競技)、特別競技(1競技)、公開競技(5競技)

国体は「国民体育大会」の略で、各都道府県持ち回りで開催される“国内最大のスポーツの祭典”です。各都道府県が、天皇杯(男女総合1位)と皇后杯(女子成績1位)の獲得を目指して、毎年熱い戦いを繰り広げています。

益子町では「サッカー」と「軟式野球」が行われます。

サッカー(少年男子)



令和4年10月2日(日)～3日(月)

南運動公園陸上競技場

軟式野球(成年男子)



令和4年10月7日(金)～8日(土)

北公園野球場

※令和3年には、同会場で「リハーサル大会」が開催されます。

サッカー：令和3年10月 9日(土)、10日(日) 第57回全国社会人サッカー選手権大会

軟式野球：令和3年10月30日(土)、31日(日) 第29回東日本軟式野球選手権大会

スマートフォン決済アプリを利用して町税を納付することができます

スマートフォン決済サービスアプリ 「PayPay」「LINEPay」を利用して納付できます。詳しくは町ホームページをご覧ください。

アプリ納付について 納期限について

町の人口 3月1日現在

男	10,737人 (△34人)
女	10,884人 (△28人)
計	21,621人 (△62人)
世帯数	7,884戸 (△25戸)

()の数は前月との比較を表します。

益子町ふるさとづくり基金

2月累計 127件 / 1,710,000円

年度累計 2,540件 / 40,502,159円

MY サナップ



工藤 碧さん(5歳) 玲依さん(8歳)

ご両親：工藤 尚希さん・仁美さん(栗崎)

いつも元気いっぱいな2人！

4月からは3年生と年長さんになります。

これからも楽しくすごしていこうね。